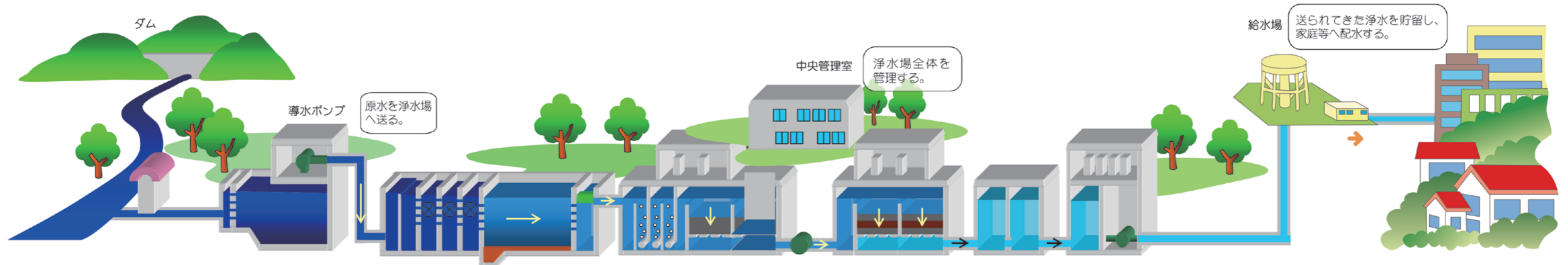


4. 浄水場のしくみ（水道水ができるまで）

浄水場では、河川や湖沼から取り入れた原水に含まれる濁質分を「沈でん」「ろ過」で取り除き、オゾンや活性炭で低減化を図っています。さらに塩素剤による消毒を行い、「水道法」に定めら

れています。また、藻類等に起因するカビ臭いにおい^{くさ}やトリハロメタン等への対応としては、^{くさ}れた水質基準に適合した、安全でより良質なおいしい水道水の供給に努めています。



- 取水ゲート** 原水を取り入れる。
- 沈砂池** 原水中の土砂を沈降させ除去する。
- フロック形成池** 凝集剤(水のにごりを固める薬品)を注入し、にごりを固まり(フロック)にする。
- 沈でん池** にごりの固まり(フロック)を沈でんさせる。
- オゾン接触池** カビ臭いにおい等をオゾンで分解する。
- 活性炭吸着池** 分解されたにおいのもとなどを活性炭で吸着させる。
- ろ過池** さらにきれいにするため、砂の層を通してこす。
- 配水池** 浄水を貯留し、送・配水量の時間変動を調整する。
- 送水ポンプ** 浄水を給水場、配水塔等に送水する。



? 高度浄水処理とは

通常の凝集沈でん・ろ過の浄水処理では取りきれないにおいなどに対処するために行う、オゾンの酸化作用と活性炭の吸着作用を組み合わせた処理です。

オゾン接触池

においや、トリハロメタン等の原因物質である有機物はオゾンの酸化力によって分解されます。



活性炭吸着池

オゾンで分解された物質などは、活性炭で吸着除去されます。

